



プロ用 - 最高級陶磁器成形ろくろ

RK-1X 型

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



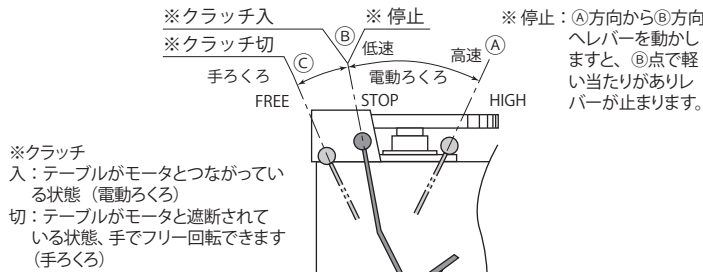
国内外営業拠点情報
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンボ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました

4. レバー（ペダル）の操作とテーブルの回転

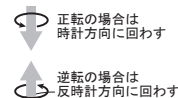


注意

- レバー（ペダル）操作は、ゆっくり行なってください。特に④位置から③位置へ、又は③位置から④位置へのレバー（ペダル）操作は、⑧位置で一旦停止する心持ちで行なってください。
- ③位置でクラッチを入れる時は、テーブルを停止させてからにしてください。
- モータの停止中は、変速操作はしないでください。

5. 0回転調整

レバー（ペダル）停止位置（前述⑧位置）でも、テーブルが正転5回転/分以上、又は逆転5回転/分以上の場合は、次の要領で0回転の調整をしてください。
 ※ろくろを右下図のようにたてます。



● 正転する場合

- ロックナットを緩め、0回転調整ボルトを時計方向に1/4回転（3時の位置まで）程度回します。
- ロックナットを締め、ろくろを正常な状態に据付けて、0回転になっているか確認してください。

*まだ0回転が出ない場合は、①②を繰り返してください。

● 逆転する場合

- ロックナットを緩め、0回転調整ボルトを半時計方向に1/4回転（9時の位置まで）程度回します。
- ロックナットを締め、ろくろを正常な状態に据付けて、0回転になっているか確認してください。

*まだ0回転が出ない場合は、①②を繰り返してください。
 *0回転の確認は、必ずろくろを正常な状態に据付けて行ってください。たてた状態ですと、回転数と回転方向が異なります。

超大物から石もの超薄物まで作陶が難しくありません

強力、低振動の工業用無段変速機を採用した新機構ですから、超大物から石もの超薄物まで難しくこなせます。

手ろくろとして、心出し・叩き・輪積み・削り・絵付け作業が容易にできます
 ペダル（レバー）をFREE方向に動かすとクラッチが切れ、手ろくろとして使えます。
 心出しや叩き、輪積み、削り、絵付け等に重宝です。

作業が終わったら

切替スイッチおよび電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

3. 保守 / 交換

注意

スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 掃除・点検・調整・交換の場合や長期間で使用にならない場合は、スイッチを切るだけでなく電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがをするおそれがあります。

注意

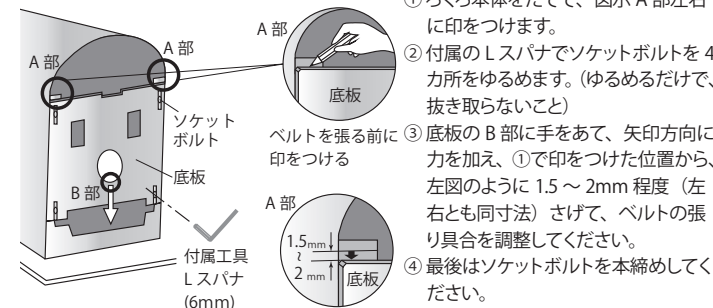
水洗い厳禁
 清掃は雑巾等で拭くようにして、水洗いは避けてください。

注意

次に述べるとき以外は機械部を勝手に調整しないでください。
 (故障の原因となります)

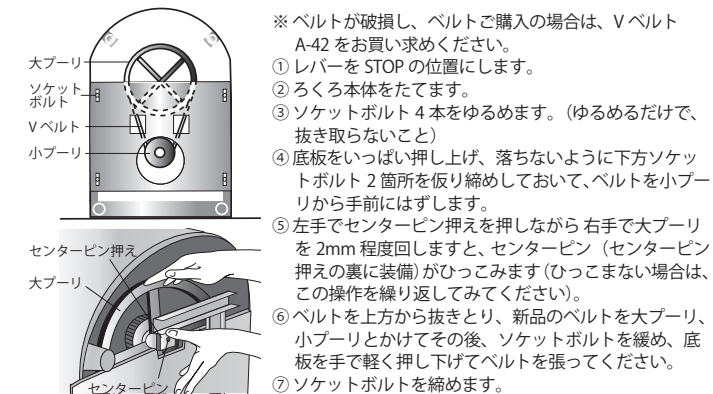
1. ベルト張りの調整

使用中、いままでと違って、ターンテーブルの力が落ちるようでしたら、ベルトの張りを調整してください。



- ろくろ本体をたてて、図示A部左右に印をつけます。
- 付属のLスパナでソケットボルトを4カ所をゆるめます。(ゆるめるだけで、抜き取らないこと)
- 底板のB部に手をあて、矢印方向に力を加え、①で印をつけた位置から、左図のように1.5～2mm程度（左右とも同寸法）さげて、ベルトの張り具合を調整してください。
- 最後はソケットボルトを本締めしてください。

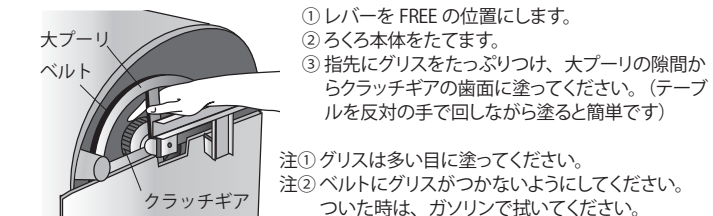
2. ベルト交換



- *ベルトが破損し、ベルトご購入の場合は、VベルトA-42をお買い求めください。
- レバーをSTOPの位置にします。
 - ろくろ本体をたてます。
 - ソケットボルト4本をゆるめます。(ゆるめるだけで、抜き取らないこと)
 - 底板をいっぱい押し上げ、落ちないように下方ソケットボルト2箇所を仮り締めしておいて、ベルトを小プーリーから手前にはずします。
 - 左手でセンターピン押えを押しながら右手で大プーリーを2mm程度回しますと、センターピン（センターピン押えの裏に装備）がひっこみず（ひっこまない場合は、この操作を繰り返してみてください）。
 - ベルトを上から抜き取り、新品のベルトを大プーリー、小プーリーとかけてその後、ソケットボルトを締め、底板を手で軽く押し下げてベルトを張ってください。
 - ソケットボルトを締めます。

3. グリス塗布要領

クラッチを入れたり、切ったりした時に「ガチャン、ガチャン」と大きな金属音がる場合は、次の要領でクラッチギアに市販のグリスを塗ってください。



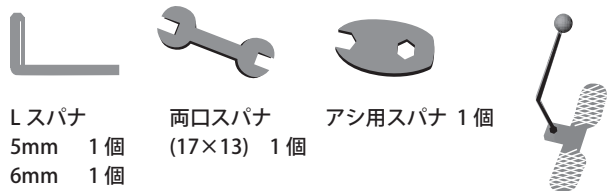
- レバーをFREEの位置にします。
 - ろくろ本体をたてます。
 - 指先にグリスをたっぷりつけ、大プーリーの隙間からクラッチギアの歯面に塗ってください。(テーブルを反対の手で回しながら塗ると簡単です)
- 注① グリスは多い目に塗ってください。
 注② ベルトにグリスがつかないようにしてください。
 ついた時は、ガソリンで拭いてください。

*長期間使用して、ペダル等がきしむようでしたら、きしむ部分にミシン油を差してください。

ご確認

★開梱時には以下のものが梱包されているか、まずご確認ください。

工具	付属部品
----	------

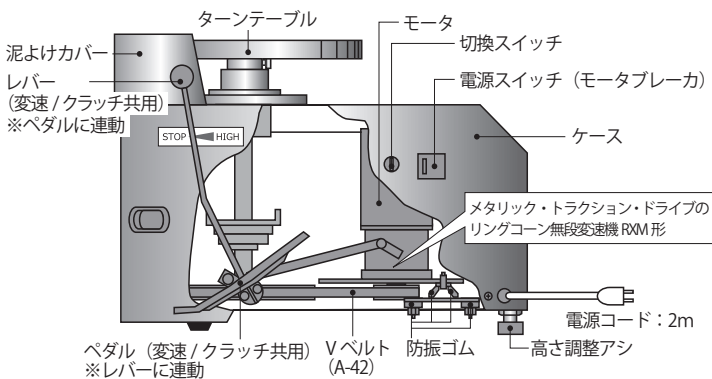


Lスパナ 5mm 1個
6mm 1個
両口スパナ (17×13) 1個
アシ用スパナ 1個
変速 / クラッチ共用
ペダル (レバー付) 1個

各部の名称と仕様

強力パワーと低振動を両立した《メタリック・トラクション・ドライブ方式》

原動部にリングコーン無段変速機 RXM 形を搭載。
強靱な特殊銅製リングとコーンを高級潤滑油内で、圧接伝動する本格的な変速機構《メタリック・トラクション・ドライブ方式》を採用しています。
強力、低振動、超広範囲変速、故障しない長寿命等を同時に実現しました。



仕様

使用モータ	300W(1/2.5 馬力) 単相 100V(電灯線用)
変速機構	メタリック・トラクション・ドライブ方式 (工業用無段変速機搭載)
変速 / クラッチ操作方法	レバー、ペダル両方装備 (連動式)
ターンテーブル回転数	50Hz : 0 ~ 250 回転 / 分 60Hz : 0 ~ 300 回転 / 分 (無段変速)
ターンテーブル回転方向	スイッチ切換えで、右回り・左回りとも可能
手らくろとして使用	クラッチ切換えで可能
ターンテーブル径	400mm(軽合金鋳物製)
外形寸法	長 730 × 幅 540 × 高 540 mm
重量	85 kg

【安全にお使いいただくために】

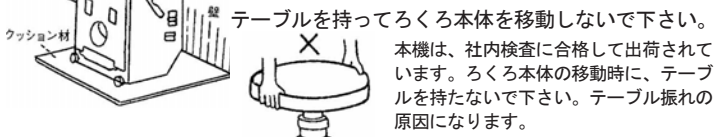
据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」及び「注意」として区別してあります。

警告 取扱いを誤った場合に、重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

注意 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

据付け準備や保守点検などでろくろをたてて作業される場合

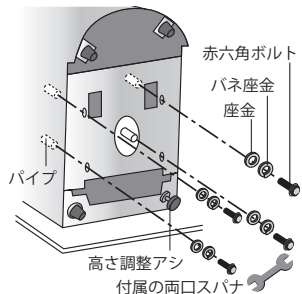
図のようにろくろ本体を傷つけないように段ボールなどのクッション材を敷いてください。又、倒れないようにテーブル面を壁などにあて、安定をはかって下さい。



テーブルを持ってろくろ本体を移動しないで下さい。
本機は、社内検査に合格して出荷されています。ろくろ本体の移動時に、テーブルを持たないで下さい。テーブル振れの原因になります。

1. 据付け

1. モータ固定留めを取りはずします



- ろくろ本体を左図のようにたててください。
- 輸送用モータ固定留めを取りはずします。付属の両口スパナで左図 4 カ所の赤色六角ボルト、バネ座金、座金、パイプ等を取りはずします。(パイプは本体内部についていますので、忘れずに取りはずして下さい) なお、これらの部品等は、今後輸送時に必要ですので保管しておいてください。

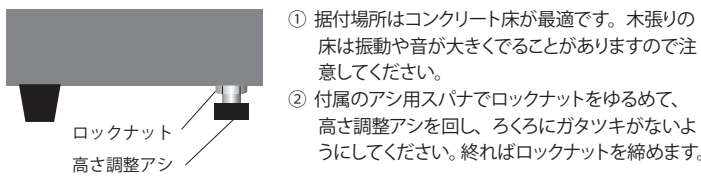
2. ペダル (レバー付) を取り付けます



本体ペダル装着部のボルト、ワッシャを付属のLスパナではなくして、ペダル(レバー付)を本体に取り付けてください。

3. しっかりした所に、がたつかないように据付けます

据付け状態が悪いと、振動や騒音が増大される恐れがあります。確実に据付けてください。



- 据付場所はコンクリート床が最適です。木張りの床は振動や音が大きくでることがありますので注意してください。
- 付属のアシ用スパナでロックナットをゆるめて、高さ調整アシを回し、ろくろにガタツキがないようにしてください。終わればロックナットを締めます。

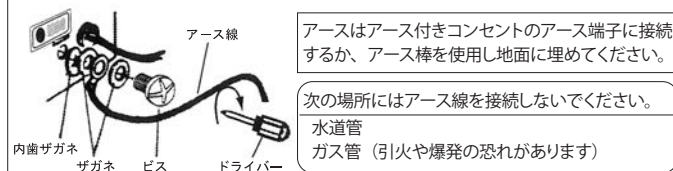
注意 4. アースを線の取付けについて

感電防止のため、アースをしてください

※ アース線、アース棒は付属されておりません。市販のものをご購入のうえ、ご使用ください。
※ アースの取り付けは電気工事店へ依頼してください。(有料)

単相のアース線 (別売) の取付けは以下のように行ってください。

アース線は本体側面のアース線取り付け部に接続してください。



警告 5. タコ足配線はしないでください

同一コンセントで、他の電気器具の電源にも使用すると、過電流が流れ、熱をもち火災のおそれがあります。



2. 運転

初めてのご使用時は、必ずならし運転を行なってください

ご購入時の最初の運転時のみ、トントン又はゴトゴトいう音が発生することがあります。その場合は、回転方向切換スイッチを入れてペダルを高速位置にして 15 分間ならし運転をしてください。

警告 スイッチ操作は、“濡れ手” でしないでください

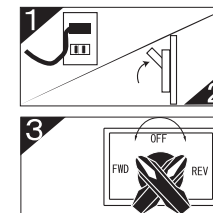
濡れた手でスイッチ操作をすると感電のおそれがあります。



1. 始動

- 電源コードをコンセントに差し込みます。
- 電源スイッチ (モータブレーカ) を入れます。
- 希望回転方向に切換スイッチを入れます。メタリック・トラクション・ドライブならではの軽快な運転音がします。

FWD — 右回転 **REV** — 左回転



2. 回転方向の切換え

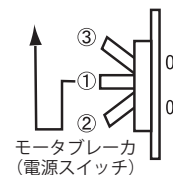
回転方向を換える時は、切換スイッチを OFF にし、モータが完全に停止してから、スイッチを切り換えてください。回転中にスイッチを反対側に倒しますと、モータをいためる原因になりますので、やめてください。

3. モータブレーカ (電源スイッチ) が落ちた場合

負荷をかけすぎた時に、モータを焼損から守る為、モータブレーカを装備しています。

過負荷運転が長く続きますと、モータブレーカが落ちます。運転を再開される時は、以下のようにしてください。

- モータブレーカが落ちた状態
- 一旦「OFF」側いっぱいまでノブを降ろす
- 「ON」にする



過負荷運転にならないようにしてください。